

地域資源を効果的に活用した 特色のある教育の創造

～学校運営協議会委員・教員参画の
グループ協議を活かして～

広島県立福山北特別支援学校



○昭和51年創立(50年目)

○就学区域：福山市、府中市、神石高原町

○対 象：知的障害
学 部：小学部、中学部、高等部

○高等部に職業コースを設置

○児童生徒数364人



フッキー

教育目標

学んだことを生活に生かし、主体的に
自己実現を目指す児童生徒の育成

育てたい児童生徒像

- 小学部
- 1 元気な挨拶をしたり、「ありがとう」「てつだって」を伝えたりすることができる児童
 - 2 自分が好きなこと、やってみたいことをたくさん見付けることができる児童
 - 3 生活の中で、「ふしぎ」「なぜ」を見付けることができる児童
 - 4 憧れの対象を見付け、今できることをやってみようとする児童

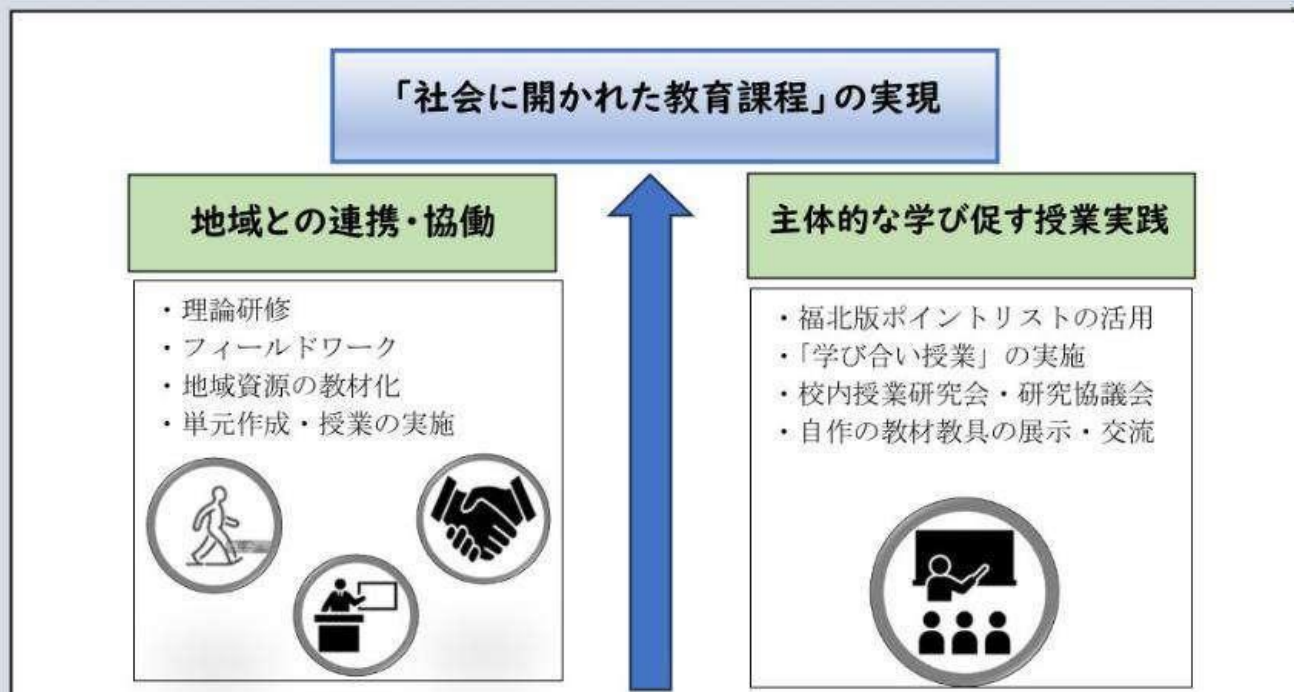
- 中学部
- 1 自分の思いを伝えたり、他者の思いを聞いたりすることができる生徒
 - 2 自分の得意なことを、生活の中で生かすことができる生徒
 - 3 困ったときに、今まで学んだことから自分で考え、解決することができる生徒
 - 4 モデルとなる人を真似て、任された役割をやりぬくことができる生徒

- 高等部
- 1 自分の意見を伝えたり、他者の意見を聞いたりして、合意形成ができる生徒
 - 2 自分の得意なこと、不得意なことを理解し、生活の中で生かすことができる生徒
 - 3 自分で解決できない課題に出会ったときに、他者と相談して、解決することができる生徒
 - 4 自分の将来像を思い描き、その実現に向け、継続して取り組むことができる生徒

研究主題:地域の資源を活用した「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて
～地域との連携・協働と児童生徒の主体的な学びを通じて～(3年計画)

【研究方法(2年目)】

- ① 「地域との連携・協働」と関連した単元の作成・授業の実施
- ② 児童生徒が主体的に学ぶための指導法等



第2回 学校運営協議会(8月)

第1部 協議(委員・管理職・主任)
「学校経営計画の実施状況」

第2部 グループ協議(委員・全教員)
「地域と連携・協働した単元開発
と授業の実施」

当日のグループ協議の様子です。110名以上の参加者で実施しました。



一つのグループは5~7人で、各学部混合のグループで行いました。学校運営協議会の委員のメンバーは、大学の准教授や地域の社会福祉法人、社会福祉協議会の担当者の方やPTA会長等の様々な立場の方々に構成され、グループ協議では多様な意見を賜りました。

子どもたちとどんな学び



令和7年度学校運営協議会第2部
グループ協議まとめ

育てたい児童生徒像

単元開発・授業の実施・カリキュラムマネジメント等

こんな学びが
できそう！

こんな学びができそう！
農業体験
SNSの活用
地元のスポーツや関わる人たちの仕事を知る
出前授業
子供向けの演奏会
ローラちゃん・クワイのゆるキャラの出前

こんな学びができそう！
○農作物系
農家さんにインタビュー(くわい農家:山手町)・収穫の手伝い・いたでなどで給食で食べる・収穫した作物を調理・直売所などで販売体験・加工品づくり・産直市場見学・郷土料理についてつなげる・野菜作り体験・給食に出た料理とつなげる
○ばら系
ばらの形のパン作り
ばら祭り配れるグッズづくり・品種調べ・福山市出前講座・ばら公園について・商品開発・世界との比較

こんな学びができそう！
琴部の交流・先生の演奏
下駄づくり・下駄リンピック
職人さんの話を聞く・ものづくり体験
体験・デニム・綿や糸つむぎ・あんどめ体験・工場見学
余った野菜など身近な物の葉菜活用・地域企業との連携(SDGs・作成等のアドバイス)・モノづくり体験

こんな学びができそう！
昔の福山を知り、故郷を学ぶ・出土品・歴史調べ・土井の環古墳・神切穂熟史跡等の史跡巡り
自然を見る・秋見つけ等季節の花見つけ・ため池がほかの地域より多い
海水から塩を取り出す・湖の利用
常夜灯・頼朝・頼朝くわ・ねぶたなどの調べ学習
清掃・花いっぱい運動・花びらで押し花のしおり・桜など季節の花めぐり・キーホルダーづくり・ゴミ拾い・花壇整理・マラソン大会・SUP
自然観察・調理・余暇・協力
福山の誇りからどこにつながっていくのか(観光・貿易)
昔の人の防災・現在の防災・音楽の授業発表会

こんな学びができそう！
機関会社のオンデマンド研修あり。スマホ適切な使用について
子どもの110番の場所を知る。
事故が起きやすい場所を知る。
祭りの由来・ダンスの指導・よさこいチームやよさこいソーランの指導・橋子の使い方

こんな学びができそう！
路線バス・公共交通機関の使い方・余暇時間
商品開発食品づくり体験
しめ縄づくり・大鼓
施設見学できる
地域物産ショップと連携し、コーヒー焙煎を教えてもらう・パッケージング・カフェで販売
クッキーなどの共同開発
利用者さんとの交流やコラボ
日本面の修復を伝統的な技術で行っている企業
食品包装製造の学習
飲食関連の企業コラボした商品・パッケージデザイン自分の食生活や栄養を考える
話を聞く・見学・交流
バックヤード体験・職業体験アンテナショップ
(作業体験)
鉄釘や半導体工場見学・出前授業

こんな学びができそう！
ウイナーの飾り切り体験・遊具などで遊べるので校外学習の行先に。
大学生との交流:スポーツ・余暇・レク・ゆどりの時間にワークショップ・読み聞かせ等のボランティア
パンフレットづくり・施設見学・公共の施設の使い方・職業体験
新幹線・夜市など周辺イベント調べ・福祉施設の学習
道路の安全と地域の理解:ゴミ拾い+リサイクル学習
小学校との連携・駅アンテナショップ計画
非行防止教室・犯罪になる行為について知る・交通安全教室(市の事業)
水の循環調べ
福山の魅力をまとめて発信
地域の方との交流:ウクレレサロン・利用されている方と交流し、自分たちができることを考える

地域資源

地域資源一ヒト一
地域の農家の方
陶芸教室の先生
福山市のインフルエンサー
福山のスポーツチーム
中小企業家同友会(バリアフリー委員会)
竹藪工の工芸家(職人)
地域の合宿宿
地域のご当地キャラ

地域資源一モノ一
(食べ物、植物)
くわい・ぶどう・くわい・お好み焼き・レモン
加茂町の米・野菜
菜・神石高原町のこんにやく
マンホール
ばら

地域資源一モノ一
(伝統的な物、特産品等)
等
下駄
三味線
信後餅
織姫染色
マンホール
原部小タル

地域資源一場所一(公共の施設)
地域の小中学校・高等学校・大学
警察署
県立博物館・美術館・動物園・図書館
貝原資料館・自動車時計博物館
館・歴史民俗博物館・エフビコリサイクルセンター・エフビコアリーナ・リーディングス・福山エネルギーパーク真沖・府中子ども園
ぼぼむ・上下水道(通高)・メモリアルパーク
駅・神社
公民館・交流館・サロン・SA

地域資源一場所一
(地域の企業やお店・公園など)
バス会社・養蜂場
地域の施設ミュージアム
きをり蔵教室
延福の飲食取扱店
社会福祉施設・生涯介護事業所
吉良家
事業所
地域の飲食店
製造系企業

地域資源一場所一
(伝統的な建造物、自然など)
吉壇・福山城・神切本陣
加茂川・正戸山・笠園山・小豆田池・芦田川・海・砂留
中国自然歩道・山野吟
堀田(松水エリア)
納の湖・厚生町
加茂町のちきり回れるエリア
ア・駅前公園
葛多浦大島(雑学堂館の体験)
帯根・羽高湖森林公園

地域資源一その他一
スマホ安全教室
子ども見守り隊
サッカーチームなどクラブチーム
府中(味噌・家具・お好み焼き)
地域のお祭り:語りメダカ祭り・けんか祭り・二上り語り・駅家サツカ(滋陽)
他学部との情報共有
外部プールの施設利用

地域資源

地域資源ーヒトー

地域の農家の方
陶芸教室の先生
福山市のインフルエンサー
福山のスポーツチーム
中小企業家同友会(バリアフリー委員会)
竹細工の工芸家(駅家)
地域の合唱団

地域資源ー場所ー

(伝統的な建造物・自然など)
古墳・福山城・神辺本陣
加茂川・正戸山・蛇園山・小豆田池・芦田川・海・砂留
中国自然歩道・山野峠
塩田(松永エリア)

こんな学びができそう！

昔の福山を知り、故郷を学ぶ・
の塚古墳・神辺練熟史跡等の史跡
自然を見る・秋見つけ等季節の
の地域より多い

こんな学びができそう！

路線バス・公共交通機関の使
商品開発食品づくり体験
しめ縄づくり・太鼓
施設見学できる
地域珈琲ショップと連携し、

地域と連携・協働した教育

- ① 高齢者施設への就労促進
- ② フットサルのできる環境整備
- ③ くわいの栽培



高齢者施設への就労促進（R5～）

高齢者施設での職
場実習

関係機関等との連携

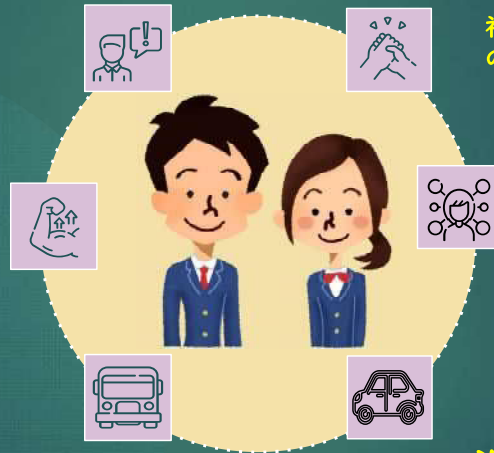
社会福祉協議会、沼隈特別支援学校との連携（2校のJSTが連携・調整）

福山平成大学での
介護実習

高齢者施設への就
労に係る講話

「福祉施設の仕事を知ろ
う！！」バスツアー

運転免許取得促進
の講話



高等部卒業者の就職率



就職希望のミスマッチ

- ▶ ドラッグストア、スーパーマーケットへの就労希望の生徒は多数いるが、各店舗の障害者雇用はほぼ充足。
- ▶ 高齢者施設での新規雇用ニーズがあるが、生徒の就職希望は少ない。
 - ・ 高齢者施設に行ったことがない
 - ・ 市街地から遠い施設への通勤が困難

高齢者施設での新規雇用ニーズ

■ 介護職員不足が常態化

介護職員不足の施設 86%

(R4福山市老人福祉連絡協議会調査)

■ 介護助手（資格不要）の雇用検討

介護助手の雇用検討の施設 89%

(R4福山市老人福祉連絡協議会調査)

■ 福山市高齢者保健福祉計画2024

『介護職員が専門的業務に専念できるよう元気な高齢者や障がいのある方等を「介護助手」として雇用する取組を関係団体と連携し進めています。』

福山北特支・沼隈特支・社会福祉協議会 での連携・情報交換

学校運営
協議会委員

学校運営
協議会委員



高齢者施設への就労に係る講話

講師：特別養護老人ホーム園長
(学校運営協議会委員)



福祉施設の バスツアー

主催：福山市地域福祉
貢献活動協議会

事務局：福山市社会
福祉協議会

広島県立福山北特別支援学校

見学しよう! 体験しよう!

「福祉施設の仕事を知らう!!!」バスツアー

福祉の仕事って、
どんなことをし
ているの?

福祉の施設って、
どんな
雰囲気なの?

実施日時 2025年(令和7年)3月8日(土) 9:45~15:00 (集合9:30)
 申込み切 2025年(令和7年)2月22日(日)

参加費無料
定員30名

〈対象〉 広島県立福山北特別支援学校に在籍する生徒・保護者
 〈持参物〉 昼食・飲み物は各自でご持参ください。上履き・靴袋(ビニール袋)・筆記用具

集合
広島県立
福山北
特別支援学校
9:30

出発
9:45

高齢者施設
社会福祉法人 桜樹会
地域密着型特別養護老人ホーム
すず
(福山市駅家町)
13:00着

14:00発

高齢者施設
社会福祉法人 せとうち
特別養護老人ホーム
プレジール 箕島
(福山市箕島町)
10:00着

**11:00
見学終了**

見学終了後
施設で昼食を食べます。
(昼食・飲み物は
各自ご持参ください)

12:15発

**15:00
到着**
広島県立
福山北
特別支援学校

※写真はイメージです
※バスの発着時間は予定ですので、前後する場合があります

<申込要項>
○申込については、担任の先生に参加申込書
提出してください。

<申込・問い合わせ先>
主 催：福山市地域福祉貢献活動協議会
事務局：社会福祉法人 福山市社会福祉協議会 福祉のまちづくり課
〒720-8512 福山市三西町南二丁目11-22 福山すこやかセンター内
TEL (084) 928-1333 FAX (084) 928-1331 E-mail: shakyo@blue.ocn.ne.jp
共 催：福山市福祉・介護人材確保総合支援協議会

福山平成大学での介護実習



講師 福山平成大学教員
回数 年2回
対象 高1生徒

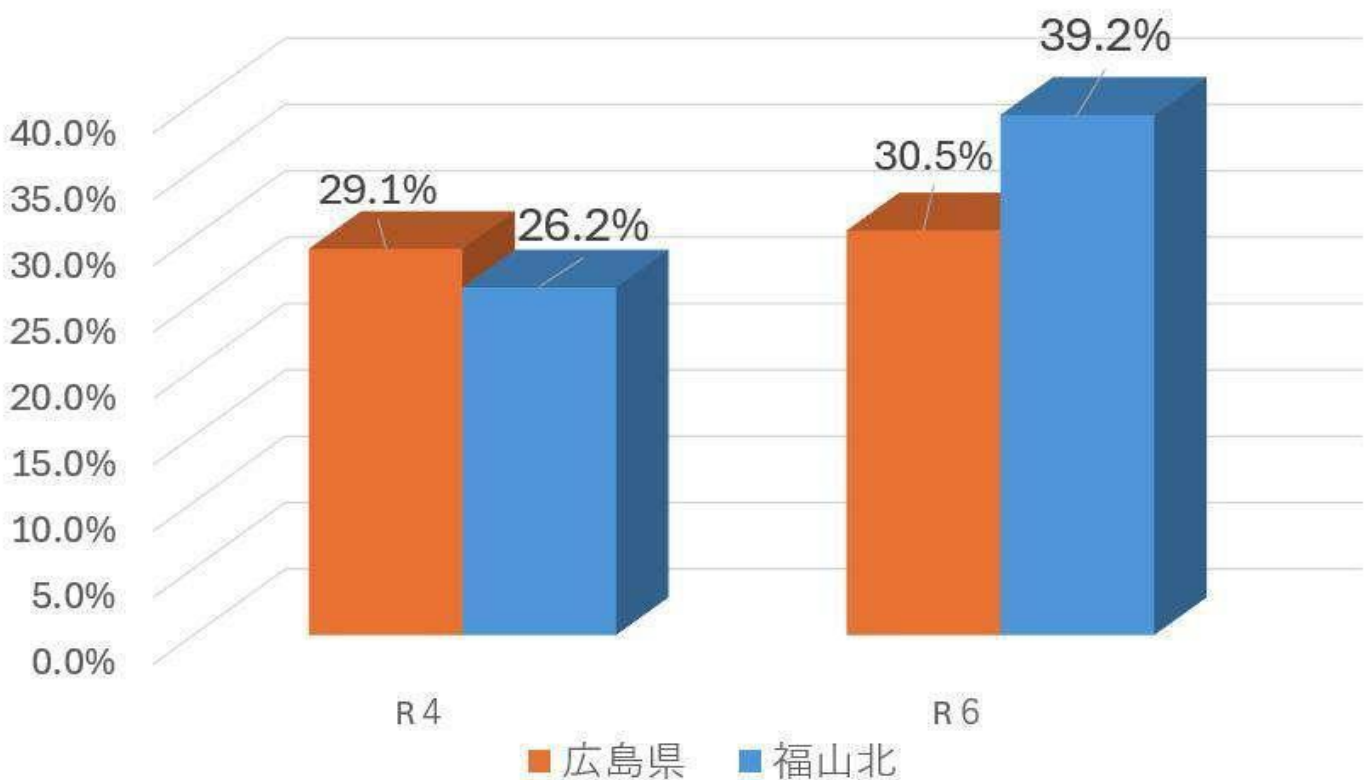
運転免許取得促進の講話

講師 府中自動車学校指導員
内容 ・ 免許取得手続き
・ 試験問題（例）



高齢者施設への就職者
R5：0名 ⇒ R6：4名

高等部卒業者の就職率



フットサルのできる環境整備

▶ 全国特別支援学校フットサル大会 (R4~)

【R4】 【R7】

参加校 70校 ⇒ 138校

大会の理念 (要約)

- 自立して行動できる力、生徒が自ら判断し主体的に行動する力、就労に必要な力を育成
- 思いやり (RESPECT) の心、他者への敬意を具体的に表す行動を奨励

フットサルのできる環境整備 (R6~)

【授業支援】

- ・ 福山シティFC (R7.1月)
- ・ 福山平成大学 (R8予定)

【用具支援】

- ・ 明治安田生命
- ・ 福山久松ライオンズクラブ
- ・ リョービ (株)

学校運営
協議会委員



【部活動支援】

- ・ スフィード備後府中FC



学校運営協議会委員が仲介

地元企業からの用具支援（R7.4月）



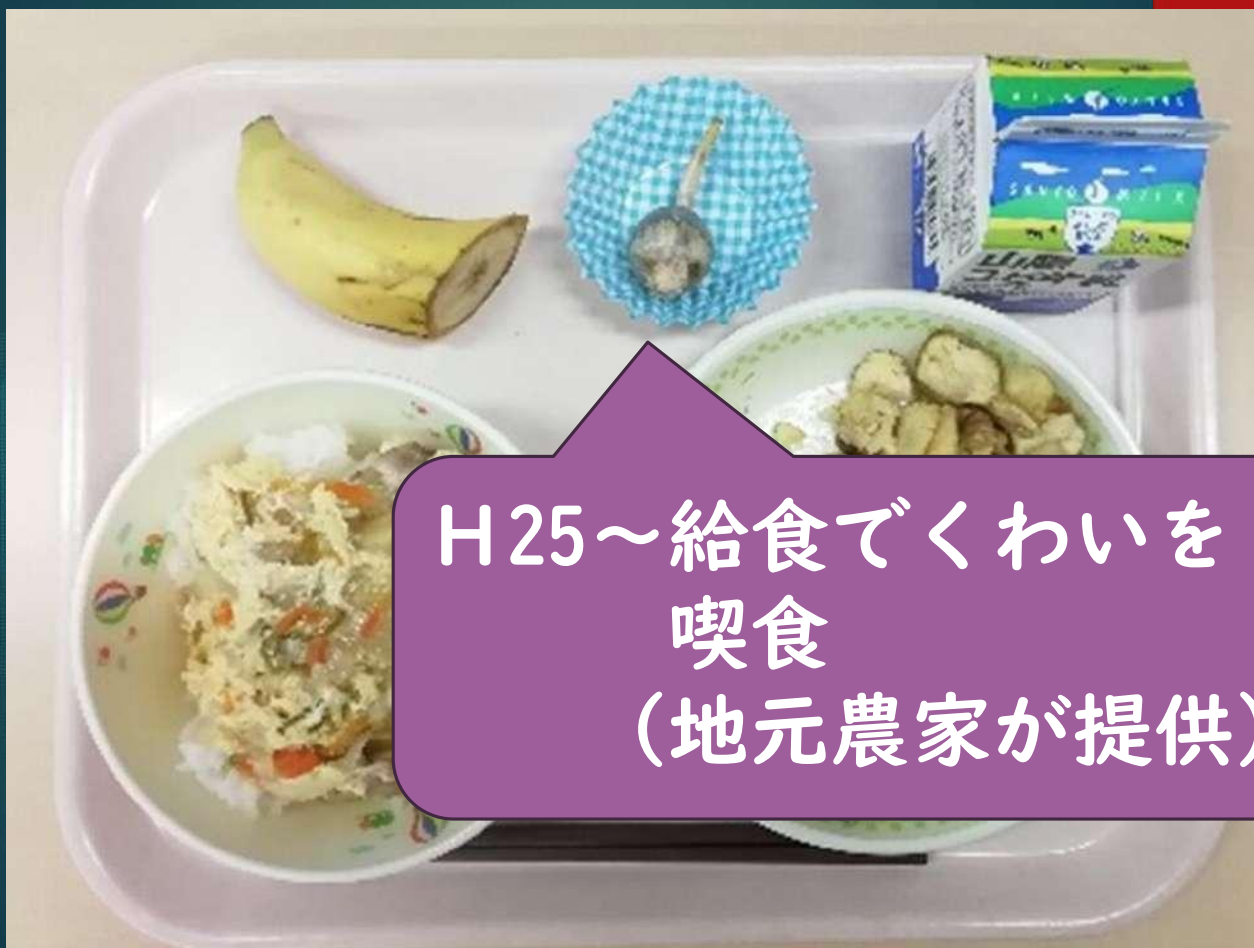
スフィード備後府中
FC監督

フットサル部員の募集（R7.4月～）



中四国予選出場 (R7.8月)
※部員8名 (中3～高3)

くわいの栽培 (R7)



H25～給食でくわいを
喫食
(地元農家が提供)

くわいの栽培（R7）

福山のくわいは全国一の生産量を誇っています。沼地に自生していたものを福山城の堀に植えたのが、福山での栽培の始まりといわれています。

福山くわい出荷組合が出荷するくわいはふくやまブランド農産物として認定されています。
（福山市HPより）

- ▶ R6.8月 くわい栽培の単元を検討
- ▶ R6.12月 教員が小学校のくわい収穫を見学



地元企業からの教材支援（4月）



技術支援：JA福山

くわいの植え付け（6月）



くわいの植え付け（6月）



3か月後 (9月)



くわい畑の見学 (9月)



くわいの収穫（11月）

高齢者施設への就労

児童生徒

- ・老人ホームでの仕事の具体がイメージできた、興味をもった。
- ・老人ホームに就職し、介護の資格を取りたい。

フットサル

- ・選手同士のコミュニケーションを楽しむことを大切にしていきたい。
- ・フットサルで身につけた体力を仕事でも生かしたい。

くわいの栽培

- ・くわいができてうれしい。
- ・（農家さんの仕事）すごいな。来年も作りたい。

地域・連携先

老人ホーム施設長

- ・今までいなかった若い職員が就職してくれて、入所者が元気になる、喜んでいる。
- ・将来は資格取得も検討し、介護職員への道を歩ませたい。

地元クラブチーム成人選手

- ・他校でも指導しているが、障害の有無での違いはなく、一緒にフットサルができて楽しい。
- ・特別支援学校で教員をしてみたい。

J A職員

- ・福山の特産品について興味をもって頂けてうれしい。

学校運営員協議会委員

- ・高齢者施設への就労促進に向け、高等部生徒の施設見学・実習の機会を増やしてはどうか。
- ・フットサル部等の新たな地域連携の取組を進めていることが良い。児童生徒の活動の幅を拡げてほしい。
- ・地域住民の学校行事への参加や日常的に学校へ行ける取組を模索したい。

大学・クラブチーム

- ・福山平成大学の学生10名が、学校を見学。
 - 5名は、特別支援学校の教員採用試験を検討。
 - 5名は、特別支援学校での臨時的任用を希望。
- ・スフィード備後府中FCの選手2名が、「特別支援学校で働こう！ 求人フェア」に応募。

今後は・・・

- ・福山平成大学サッカー部との連携、高齢者施設の見学等を調整中。
- ・教職員の負担増に留意しつつ、学校運営協議会委員や各種団体と連携して、地域資源の活用・開発を継続。
- ・地域住民の参画は、長期的には教員不足対策にも効果。



地域と連携・協働した学びを通して、児童生徒の自立と社会参加を促進